

軸となる取組・活動1 「学力向上の取組」

義務教育卒業時につけたい力 <学力向上> ○基礎・基本的な知識を有し，その知識を活用・表現することが出来る力 ○探究心を持ち，問題解決に向けて粘り強く取り組むことが出来る力

学年または学年区分ごとにめざす姿								
1 st stage			2 nd stage			3 rd stage		
●学び方を学び，自分から進んで学習に取り組む			●基礎・基本的な知識が定着している ●自学自習の習慣が身につく，それを実践しようとする			●学んだ知識を活用し，自分の考えや意見をまとめたり，発表・表現することが出来る ●自分から課題を見つけ，その解決に向けて，自ら学習を企画し，実践していくことが出来る。		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）

取組・活動 <京北第一小学校の取組> *学習規律の確立と徹底正しい姿勢で学習する。授業始まり，授業終わりのあいさつの励行。話し方指導などの徹底。授業時間を確実に確保するために，「ベル着」についても指導・徹底する。 *ぐんぐんタイム（火・水・金10分間）において，計算・漢字・言葉の反復練習をしたり，問題データベースを活用したりして，基礎基本の学力の定着を目指す。 *教師主導の授業から，子ども中心の学習への転換を目指す。 *学年に見合った内容と時間の家庭学習が実践できるように働きかける。自ら課題を見つけたり，探求活動をしたりする「自主学习」の奨励・推進を行う。 <京北第二小学校の取組> *「めあて」に応じた「まとめ」と「振り返り」の徹底や課題発見・解決型の授業展開を意図的に取り入れるなど，子どもが主体的に進める授業の実践を進める。 *思考力・表現力の向上を目指した集団解決の充実やノート指導を中心とした学び方の指導の徹底等，言語活動の充実に努める。 *特別の教科道徳を中核として，郷土の歴史や伝統，豊かな自然を愛する心を養い，地域創生力の素地を培う。 *基礎的基本的な知識・技能の習得に向けて，学習タイムを活用して反復練習を行う。また，習得した知識・技能を活用する場を意図的に設定する。授業との連動や自主学習の促進等，家庭学習の充実を図る。 *LD等通級指導教室，総合育成支援員の活用はもとより，日々の授業における個別の支援の充実に取り組んでいく。 <京北第三小学校の取組> *授業改善。教師の意図的な仕掛け・工夫により，児童の興味・関心・意欲を引き出せる授業を展開する。授業の流れに合わせた板書計画を立て，ノート指導も徹底する。一人一人の課題を確実にとらえ，個に応じた支援の手立てを工夫する。研究主任中心にミニ授業研究を行い，自分の授業を公開し，アドバイスをもらう。 *大杉っ子タイム（帯時間）の学習内容を基礎・基本を習得する時間とし，最後まで徹底してやりきらせる。漢字大会・計算大会を定期的に行い，漢字力・計算力の向上を図り，児童に自信をつけさせて，学習意欲を高める。家庭学習の内容や方法を交流し，学力の定着に効果的な家庭学習を全校で取り組む。	<周山中学校の取組> *進路学習・校外学習・高校調べなど，テーマに基づいた調べ学習を行い自ら課題を解決する力を養う *小グループによる主体的で対話的・深い学びを全教科で取り入れ，互いの学び合いの場を常に設定する *自主学習ノートを活用した家庭学習の充実 数・英の重点化 *朝読書の実施と共に，全生徒が長文を書くことが出来るような指導を行う
--	--

<中学校ブロックとしての共通の取組> ★昨年度作成された「京北学びの手引き」に基づいて，小学校から中学校まで一貫した学習方法の習得や，自学自習の習慣作りを進め，「手引き」を検証する。 ★様々な取り組みを通して，基礎・基本の徹底を図る ★家庭学習の時間が少なく，定着も不十分であるので，小中で共に家庭学習の定着に向けた宿題・ノート指導・自学自習の定着に向けた取り組みを進める ★発達年齢に応じた，グループ活動・グループワークの方法に対する研究と実践を進め，主体的・対話的で深い学びを推進する ★Pepperを用いたプログラミング教育を推進する ★小学校の英語科導入に伴い，中学校の英語科教員がT Tの形で小学校を訪れ，連携して取り組みを進める。また今年度は，低学年からの英語活動を開始する ★京北地域に数多く存在する文化的・人的・自然の財産を活用し，ゲストティーチャーを招いたり，地域の取り組みと連携したりして，児童・生徒の京北に対する理解や主体性を育てることで，京北の課題や進むべき方向性を自らの生き方の中で考えさせる取り組みを進める
--

<小中一貫教育校創設に向けた取組> ●小学校の合同行事を継続し，学年毎の合同学習や，小学生・中学生全部が一堂に会する合同行事を昨年に引き続き推進する。 ●より高い学力を育成するため，小中一貫校のメリットである，小学校高学年を中心とした「専科教育」を想定し，中学校教員の小学校での授業を推進する。小学校英語科の導入に対応し，昨年に引き続き5，6年生の英語科教育を中学校教員がT Tとして関わる他，3，4年生の英語活動にも参画する。また，音楽も中学校の教員が小学校の音楽活動の支援に当たる。中学校の音楽祭に小学生全員が参加する合同行事に向けて取り組みを進める。 ●学年部会ごとに公開授業を設定し，小小連携・小中連携の取り組みを推進し，授業力の向上に努める。その他に人権教育の公開授業も相互に設定する。 ●月1回の4校合同の全体研修会を企画し，すでに開校している小中一貫校に学ぶためのフィールドワークの他，教務・学力・総合的な学習の時間・生徒指導・特活・健康・事務などの各部会も定例化し，情報交換や協議を行う。また一貫校開校に向けた具体的な準備作業に入る。 ●4校による京北校長会・それに教務主任を加えたコア会議・さらに生指主任と研究主任を加えた準備委員会を月一回以上開催し，学力向上に向けた取り組みや軌道修正などを日常的に行う他，新校開校に向けた体制を確立する。また京北地域総合育成支援部会を年2回開催し，保育所も含めて支援を要する生徒の一貫した支援の体制づくりや情報交換に努める。
--

軸となる取組・活動2「豊かな心の育成」

義務教育卒業時につけたい力<豊かな心の育成>

- 京北の大自然を愛し、地域や保護者の見守りを感じ取ることが出来る力
- 自尊感情を持ち、友達や周りの人との関係・コミュニケーションを大切に出来る力

学年または学年区分ごとにめざす姿

1 st stage				2 nd stage		3 rd stage		
<ul style="list-style-type: none"> ●京北に対する愛着を持ち、地域で育つ喜びを感じる ●誰とでも仲良くし、自分の良さを大切にする ●周りの人への思いやりやはたらきかけが出来る 				<ul style="list-style-type: none"> ●京北の良さを様々な場面で発信できる ●自分と違う考えや意見に耳を傾け、解決していくためのコミュニケーション力が持っている 		<ul style="list-style-type: none"> ●社会における自らの役割や将来の生き方・働き方を考え、進路の選択・決定をすることが出来る ●自らの生き方の中で、京北の課題や未来の姿を構想し、京北地域の活性化に貢献しようとする 		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）

取組・活動	
<p><京北第一小学校の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳の授業で扱った主題名、内容項目、教材名をカードに記し、四つの視点にわけた台紙に貼る取組を行う。毎週の道徳の時間を大切に、道徳における重点目標を意識しながら35時間確実に授業を行えるようにする。 ○道徳の授業で使用した教材に関する指導案やフラッシュカード、挿絵などをまとめ、今後の授業に生かせるようにストックする。 <p><京北第二小学校の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育を推進する。（考え議論する道徳の授業実践、各教科や特別活動と関連付けた取組の推進） ○地域の自然・文化・人材を活用し、主に生活科や総合的な学習の時間において、ふるさとの良さが実感できる取組を実践する。 ○たてわりを活かした、掃除・遊びなどの色別活動を通して、よりよい人間関係の構築とさらなるリーダー性の向上を目指す。 ○「なかよしの日」の取組（人権学習）の系統的な実践を通して、人権問題についての正しい理解と人権意識の向上に努める。 <p><京北第三小学校の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験活動や地域の自然・人々とのふれあいを通じて視野を広げるとともに、地域の一員としての自覚を高め、人の役に立つ実体験を重ね、豊かな地域社会を築こうとする自立心とたくましい実践力を持った児童の育成に努める。 ○「なかよしタイム」を活用し、他学年との交流の場で心身の調和のとれた発達を図り、実践的な態度を育てる。 ○道徳に関する指導案や資料などをまとめ、次年度に他の担任が授業に生かせるようにストックする。 	<p><周山中学校の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> * 立志式を開催し、自らの生き方を自覚させる * 進路学習・高校調べ学習などを通して、自らの生き方や進路について考えさせる * ファイナンスパーク学習・生き方探究チャレンジ体験などを通して、キャリア教育を進める

<中学校ブロックとしての共通の取組>

- ★京北を題材とした道徳教材を活用・開発し、京北への愛着・京北で暮らす人々への思い・京北の良さや課題などを常に意識できるような取り組みを進める
- ★京北地域に数多く存在する文化的・人的・自然の財産を活用し、ゲストティーチャーを招いたり、地域の取り組みと連携したりして、児童・生徒の京北に対する理解や主体性を育てることで、京北の課題や進むべき方向性を自らの生き方の中で考えさせる取り組みを進める
- ★三小学校合同の行事や授業、あるいは中学校との合同の行事などを多く設定し、これまで学んだことを活用して他者に発信していく力を育てると共に、他校の前で発表することで表現力やコミュニケーション能力の育成を図る。

<小中一貫校創設に向けた取組>

- 中学校の生徒会リーダー講習会・音楽祭などに小学生の参加を企画し、9年間の学びの中で豊かな心の育成を目指す。
- 小中一貫教育プロジェクト「道徳教育部会」で、9年間の道徳教育の全体計画を明らかにする。また、評価方法などの連携を推進する。
- 小中一貫教育プロジェクト「学力部会」において策定した「京北学びの手引き」を中心に、京北9年間を見通した学びのルールやモラル・マナーなどの統一をはかる。
- 教職員自らが京北の良さや現状を知るため、4校合同の研修会でフィールドワークや講演会などを企画し、見識を深める